

NHO フェローシップ プログラム申請書

1. 研修プログラム名:研修プログラム名 小児科コース

病院名: 福山医療センター

2. 診療科:小児科 (専門領域 小児科全般、新生児、循環器、アレルギー、消化器、心療内科)
協力科 小児外科

3. コースの概要

福山医療センター小児科の特色は、①救急医療(新生児救急、小児救急)、②感染症を始めとした小児一般診療、③専門性を持った小児医療である。専門的な診療を行うとともに、それぞれが連携しあって総合的な診療を行っており、臨床能力を身につけることができる。全国、地方学会発表や、病院内他科、病院内小児科との研修会への参加により、学術活動の経験を積む

4. 目標

短期目標

- (1) 問診、診察から診断、治療など、小児科診療の流れを学ぶ。
- (2) 小児診療に必要な処置を適切に行うことができる。※下記取得手技参照
- (3) 的確にトリアージを行い、初期対応から集中治療に至るまで、個々の技術向上を図るとともに、チーム医療の中での自分の役割を認識し、適切な対応を行うことができる。
- (4) 学会活動に積極的に参加し、研究、発表手技の向上や知識研鑽を行う。

長期目標

- (1) 個々の症例に応じてより細かい分析を行い、小児科医として相応しい診療技術を身につける。
 - ・子ども本人と保護者、特に母親との間に良好な信頼関係を築き、情報収集を行う。
 - ・子どもの年齢に応じて、適切な手技による系統的診察を行い、評価できる。
 - ・診察時は子どもや保護者への声かけや丁寧な説明をこころがけ、子どもの全身状態を包括的に観察できる。
 - ・患者の問題を正しく把握し、病歴、診察所見から必要な検査を選択し、同意のもとに実施できる。
 - ・得られた情報を総合して、適切に診断と問題解決ができる。
 - ・個々の問題点に対して、患者・家族背景を考慮して、考えることができる。
 - ・治療法の中から最も適切な診療計画を立案し、医療チーム内での確かなプレゼンテーションを行い、実践できる。
- (2) 各分野において、より専門的な知識を身につけるとともに、理解して診療を行う
新生児、循環器、アレルギー、心療内科、消化器、小児外科

5. 取得手技: 採血(毛細管血、静脈血、動脈血)、注射(静脈、筋肉、皮下、皮内)、
静脈路確保、尿、導尿、浣腸、腰椎穿刺、髄液一般検査、骨髓穿刺
高圧浣腸(腸重積整復術、臍肉芽の処置、鼠径ヘルニアの還納)
酸素吸入、輸血、胃洗浄、蘇生(人工呼吸、心マッサージ、気管内挿管、除細動)
けいれん重積に対する処置と治療 など。
6. 研修期間: 1年以上が基本ですが、その後の進路については何らの制限を与えません。
7. 募集人数: 特に定めておりません。

8. 診療科の実績

内容	年間実績
小児科入院数	1300名
うち新生児科入院数	400名
心エコー	1000件
川崎病	15例
食物経口負荷試験	160回
体重1500g未満出生児	15例
気管内挿管人工呼吸管理	30例
新生児外科手術	5~10例
こども出前講座(地域における小児医療啓蒙活動)	40回

9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤8名 非常勤5名

主として研修指導にあたる責任医師 荒木 徹 (経験年数 31年)

10. コンセプト

当院は広島県福山地区の小児医療の中核を担うべく活動を広く行っている。

子ども、保護者、地域に密着した診療をめざし、信頼のある小児科医としての活動を実践し、救急医療に始まり、小児科の一般診療から、各専門分野の特殊診療に至るまで、幅広い経験を積み、臨床能力を身につけることを目標とする

11. その他(研修関連情報など)

福山医療センター小児医療カンファレンス(小児外科、小児関連他科、院内各部署との研修)

福山小児科勤務医会(福山市内勤務医での研究会活動)

FON 交流会(近隣小児科、小児外科との臨床、研究活動 F=福山, O=尾道, N=沼隈)